



## コール待機トーン周期の設定

---

このモジュールでは、アナログの Foreign Exchange Station (FXS) 音声ポートでサポートされる Skinny Client Control Protocol (SCCP) Telephony Control (STC) Application (STCAPP) 補足サービス機能である、設定可能なコール待機トーン周期機能について説明します。この機能は Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified CM) で制御されるアナログ SCCP エンドポイントのみでサポートされます。

### このモジュール内の機能情報の検索

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースが、このモジュールで説明している機能の一部をサポートしていない場合があります。このモジュール内に記載されている特定の機能のリンクにアクセスする場合、および各機能がサポートされているリリースのリストを参照する場合は、「[設定可能なコール待機トーン周期の機能情報](#)」(P.139) を参照してください。

### プラットフォーム、および Cisco IOS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索するには

プラットフォームのサポートと、Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

## 目次

- 「[設定可能なコール待機トーン周期の制約事項](#)」(P.134)
- 「[設定可能なコール待機トーン周期の利点](#)」(P.134)
- 「[設定可能なコール待機トーン周期について](#)」(P.134)
- 「[コール待機トーン周期の設定方法](#)」(P.134)
- 「[設定可能なコール待機トーン周期の設定例](#)」(P.135)
- 「[参考資料](#)」(P.137)
- 「[設定可能なコール待機トーン周期の機能情報](#)」(P.139)

## 設定可能なコール待機トーン周期の制約事項

- この機能は Cisco Unified CME ではサポートされません。

## 設定可能なコール待機トーン周期の利点

設定可能なコール待機トーン周期機能では、現行の時分割多重スイッチにパリティが提供されます。

また、既存の設定が変更されていない場合、デフォルト動作としてシングルビープ音による下位互換性も提供されます。

## 設定可能なコール待機トーン周期について

Cisco 音声ゲートウェイの FXS ポートに接続されたアナログ電話機で SCCP 補足機能をイネーブルにするには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「[設定可能なコール待機トーン周期](#)」(P.134)

## 設定可能なコール待機トーン周期

Cisco Unified CM のアナログ エンドポイントでは、設定可能なコール待機トーン周期を使用すると、コール待機トーンを固有の呼び出し音として設定できます。この呼び出し音は、着信側がアクティブコールから着信コールに切り替え、新しい発信者が電話を切るまで、Cisco IOS SCCP 音声ゲートウェイで継続的に再生されます。

設定可能な CLI では、コール待機トーンに使用する呼び出しパルスを選択できます。

設定された場合、ユーザが新しいコールに切り替えるか、または発信者が電話を切るまで、呼び出しトーンが設定された間隔で定期的に繰り返されます。

IOS で管理されるタイマーは、この機能を提供するために利用されます。各ポートに個別のタイマーが使用されますが、コール待機トーンが再生される時のみにアクティブ化されます。

値 0 (互換性の理由でデフォルト) は、繰り返しが発生しないことを意味します。

オフフック発信者 ID は、繰り返されるコール待機トーンが設定されている場合に 1 回だけ表示されます。

## コール待機トーン周期の設定方法

設定については、「[コール待機トーン周期の設定](#)」(P.134) に詳しい説明があります。

## コール待機トーン周期の設定



(注)

本書では、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified CME の詳しい設定方法は説明しません。インストールおよび設定手順については、該当する製品のマニュアルを参照してください。

Cisco Unified CM のアナログ エンドポイントでの コール待機トーン周期の繰り返し間隔のデフォルト値を変更するには、Cisco 音声ゲートウェイで次の手順を実行します。

### 手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `stcapp supplementary-services`
4. `port port-number`
5. `cptone call-waiting repetition interval seconds`
6. `end`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable</code>  例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<code>configure terminal</code>  例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<code>stcapp supplementary-services</code>  例： Router(config)# stcapp supplementary-services	補足サービス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<code>port port-number</code>  例： Router(config-stcapp-supp)# port 2/0	STC アプリケーション補足サービス機能がサポートされるアナログ FXS 音声ポートを指定します。  • <code>port-number</code> : 音声ポート番号。範囲は 2/0 ~ 2/23 です。
ステップ 5	<code>cptone call-waiting repetition interval seconds</code>  例： Router(config-stcapp-supp-port)# cptone call-waiting repetition interval 20	トーンの繰り返し間隔を定義します。  • <code>seconds</code> : 範囲は 0 ~ 30 です。デフォルトは 0 です。 (注) デフォルトの呼び出し音はシングルビープ音です。
ステップ 6	<code>end</code>  例： Router(config-stcapp-supp-port)# end	STC アプリケーション補足サービス コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

## 設定可能なコール待機トーン周期の設定例

ここでは、次の設定例について説明します。

- 「例 : Cisco IOS ゲートウェイでの設定可能なコール待機トーン周期」 (P.136)

- 「例 : Cisco VG204 の設定可能なコール待機トーン周期」 (P.136)

## 例 : Cisco IOS ゲートウェイでの設定可能なコール待機トーン周期

次は、Cisco VG224 のポート 2/4 に接続されたアナログ電話の設定可能なコール待機トーン周期 STCAPP 補足サービス機能をイネーブルにする方法を示す **show run** コマンドのサンプル出力です。同様のサンプル出力は、**show stcapp device voice-port x/x** (または **x/x/x**) コマンドを使用して表示することもできます。

```
Router(config)# show run
.
.
.
stcapp supplementary-services
port 2/0
cptone call-waiting repetition interval 20
end
```

## 例 : Cisco VG204 の設定可能なコール待機トーン周期

次は、Cisco VG204 のポート 0/0 で設定されたコール待機トーンパルス（繰り返し間隔）を検証する方法を示す **show stcapp device** コマンドのサンプル出力です。

```
Router(config)# show stcapp device voice-port 0/0

Port Identifier: 0/0
Device Type:    ALG
Device Id:      1
Device Name:    AN1FCAC3B790000
Device Security Mode : None
Modem Capability: None
Device State:   IS
Diagnostic:     None
Directory Number: 9886087490
Dial Peer(s):  87486
Dialtone after remote onhook feature: activated
Busytone after remote onhook feature: not activated
Last Event:     STCAPP_CC_EV_CALL_DISCONNECT_DONE
Line State:     IDLE
Line Mode:      CALL_BASIC
Hook State:     ONHOOK
mwi:            DISABLE
vmwi:          OFF
mwi config:     Both
Privacy:        Not configured
PLAR:           DISABLE
Callback State: IDLE
CWT Repetition Interval: 3 second(s)
Number of CCBs: 0
Global call info:
  Total CCB count      = 1
  Total call leg count = 1
```

## 参考資料

ここでは、Cisco 音声ゲートウェイの FXS ポート用の SCCP アナログ電話機サポートに関連する資料を示します。

## 関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified Communications Manager	『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager</a> 』
Cisco Unified Communications Manager Express	『 <a href="#">Cisco Unified Communications Manager Express</a> 』
Cisco IOS のデバッグ	『 <a href="#">Cisco IOS Debug Command Reference</a> 』
Cisco IOS の音声コマンド	『 <a href="#">Cisco IOS Voice Command Reference</a> 』
Cisco IOS の音声設定	『 <a href="#">Cisco IOS Voice Configuration Library</a> 』
Cisco 音声ゲートウェイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『<a href="#">Cisco VG200 Series Gateway</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco 1800 Series Integrated Services Routers</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco 2800 Series Integrated Services Routers</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco 3800 Series Integrated services Routers</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco Unified 500 Series</a>』</li> </ul>
会議およびコード変換リソース	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『<a href="#">Cisco Unified CallManager and Cisco IOS Interoperability Guide</a>』の「<a href="#">Configuring Enhanced Conferencing and Transcoding for Voice Gateway Routers</a>」の章</li> <li>• 『<a href="#">Cisco CallManager and IOS Gateway DSP Farm Configuration Example</a>』</li> </ul>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テクニカル サポートを受ける</li> <li>・ソフトウェアをダウンロードする</li> <li>・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける</li> <li>・ツールおよびリソースへアクセスする <ul style="list-style-type: none"> <li>- Product Alert の受信登録</li> <li>- Field Notice の受信登録</li> <li>- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索</li> </ul> </li> <li>・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する</li> <li>・トレーニング リソースへアクセスする</li> <li>・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する</li> </ul> <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a></p>

## 設定可能なコール待機トーン周期の機能情報

表 15 に、このモジュールで説明した機能をリストし、特定の設定情報へのリンクを示します。この表には、Cisco IOS Release 15.1(3)T 以降のリリースで導入または変更された機能だけを示します。

このテクノロジーの機能でここに記載されていない情報については、「[補足サービスの機能ロードマップ](#)」(P.13) を参照してください。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースでは、一部のコマンドが使用できない場合があります。特定のコマンドのリリース情報については、[コマンドリファレンスマニュアル](#)を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator を使用すると、特定のソフトウェア リリース、機能セット、またはプラットフォームをサポートする Cisco IOS と Catalyst OS のソフトウェア イメージを判別できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 15 に、特定の Cisco IOS ソフトウェア リリース群で特定の機能をサポートする Cisco IOS ソフトウェア リリースだけを示します。特に明記されていない限り、Cisco IOS ソフトウェア リリース群の後続のリリースでもこの機能をサポートします。

表 15 設定可能なコール待機トーン周期の機能情報

機能名	リリース	機能情報
設定可能なコール待機トーン周期	15.1(3)T	<p>着信側が新しいコールに切り替えず、新しい発信者が電話を切らなかった場合に、コール待機トーンを継続して再生できます。この機能は Cisco Unified CM のみでサポートされます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「<a href="#">設定可能なコール待機トーン周期について</a>」(P.134)</li> <li>「<a href="#">コール待機トーン周期の設定</a>」(P.134)</li> </ul> <p>次のコマンドが導入または変更されました。 <b>cptone call-waiting repetition interval</b>、<b>show stcapp device</b></p>

